

こうざいひろあきせんしゅ 香西宏昭選手 プロフィール



- 1988年** 7月14日生まれ ^{ちば}千葉県出身 生まれた時から、ひざから下がなかった。
小学校の休み時間には野球やドッジボールをして遊んだ。勉強が苦手だった。
- 2000年** 12才の時に、車いすバスケットボールに出会う。
名門「千葉ホークス」で、本格的に車いすバスケットボールを始める。
- 2001年** アメリカのイリノイ大学の車いすバスケットボール部の、当時のヘッドコーチ（世界一のコーチと言われていた）のマイク・フログリー^{しどう}の指導を受け、車いすバスケットボールがますます大好きになる。
- 2006年** イリノイ大学に行って、フログリーからもっと学びたいと思いつつ、家族のもとをはなれることと、すべて英語^{えいご}の生活がこわくて、進路になやみ、家族やコーチに何度も相談する。
- 2007年** 高校卒業後^{そつぎょう}、イリノイ大学に入学するために、一人でアメリカに行くことを決意。自分で決めたのに、出発直前^{ふ ぜん}、不安で行くのがいやになり大泣きした。
初めての一人暮らしで、買い物や料理^{りよう り}にふんとうする。
- 2008年** 北京^{ペキン}パラリンピック車いすバスケットボール日本代表に選ば^{えら}れるが、きんちょうしすぎて、当時の様子は全く覚えていない。
2年半の間、イリノイ大学に入るために、英語ですべての勉強する。
同年代の友達^{ともだち}がたくさんできた。
- 2010年** 1月にイリノイ大学に合格^{ごうかく}。あこがれであるマイク・フログリーコーチから指導を受ける。
毎朝6:00から早朝練習。その年の全米大学選手権優勝^{せんしゅけんゆうしょう}。
- 2013年** 全米大学リーグの年間MVP^{エムヴィピー}を2年連続で受賞する。
キャプテンとしてもチームをひっぱる。
8月、イリノイ大学を卒業。アメリカの大学を卒業できたことが、とてもうれしかった。
もっともっと、強く、うまくなりたかったので、9月からドイツ・ブンデスリーグのプロの車いすバスケットボールの選手となる。
プロとしての自覚^{じかく}を持ちながら一人暮らしの生活をする。
- 2016年** リオパラリンピックで6位入賞^{い にゅうしょう}を目標^{もくひょう}にしていたが、結果は9位。くやしい思いをする。
- 2018年** 東京パラリンピックへ向けて日々挑戦^{ひび ちようせん}を続^{つづ}けている。

年 組 名前

1. ^{たいへん}大変だったこと (理由も書こう)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 今日、心に^{のこ}残ったこと (自分の^す好きなこと、がんばりたいことはあるかな？)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

パラリンピックの^{かち}価値

■ ^{ゆうき}勇気

■ ^{いし}強い意志

■ 公平

■ インスピレーション